

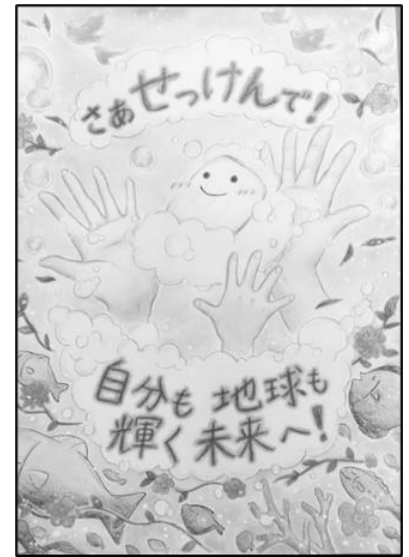
# せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間

生活クラブ大阪は「せっけん運動ネットワーク」に加入しています。

『被害者にも加害者にもならない、環境に優しい暮らし方』を求めて、『毎日の暮らしで使う洗浄剤には、環境を汚染し人体にも危険性のある合成洗剤の使用をやめ、分解が早く安全性にも優れるせっけんを使いましょう』という考えのもとに、全国の生協、漁協、市民団体など、66団体を組織するネットワークとなっていて生活クラブ大阪もその中の一員です。

毎年7月はシャボン玉月間！今年のキャッチコピーは

「さあせっけんで！自分も地球も輝く未来へ！」です。



2023年度シャボン玉月間ポスター

せっけん  
大好き♡



自然にやさしい石けんは人の体にもやさしい！  
しかも洗浄力が優れていて、いろいろな用途に使えます。合成洗剤や柔軟剤に起因する香害も問題になっていますが石けんを使う人が増えれば住みやすい世の中になりますね。部屋干ししてもクエン酸や酸素系漂白剤を活用すれば臭いも気にならず柔軟剤は不要です。環境委員会では石けん学習会やナチュラルクリーニング学習会を実演込みで開催しています。石けんに切り替えたい方、もっと石けんについて知りたい方も、ぜひご参加くださいね、お待ちしております♡

毎年キャッチコピーとポスター原画を募集しています。今年の原画はグリーンコープ生協くまもとの組合員の作品が選ばれました。

## ～せっけん運動ネットワーク講演会～ 感想

2023年5月13日 オンライン参加

「せっけんで変わる地球環境・海環境」と題して山口大学大学院創成科学研究科の今井剛さんの講演でした。福岡県宗像市沖の地島で合成洗剤使用を3か月中止し無添加せっけんに替える事でどのような影響があったか？というものでした。これには産学官地域連携が欠かせず、それはシャボン玉せっけん・山口大学・宗像市そして、島民の協力があっての実証実験でした。

2021年9月から島民に入浴や洗顔、手洗い、歯磨き、衣類の洗濯、食器洗いなどで合成洗剤ではなく無添加せっけんを使ってもらい、その後の水質調査や微生物調査をして分かった事は海洋環境の保全に役立つ有意義な実験結果になりました。当然の結果とも言えますが、石油由来の原料を化学合成し使用後は分解されにくく成分の一部が環境中に流れてしまう合成洗剤より、天然由来の原料で作られ使用後は水と二酸化炭素に分解される無添加せっけんでは明らかにBOD\*（生物化学的酸素要求量）が低くなりました。

BODが高いと水中で生活している生物（魚・エビ・わかめなど）が住みにくく、あるいは死んでしまうのです。

「私は子どもの世代にせめてこの環境を出来ればもっと良い環境を残したい」という今井さんの言葉に私も環境に負荷を与えない生活を実行していきたいと思いました。

\*BOD（生物化学的酸素要求量）とは微生物が水中に存在する汚れを分解するのに必要な酸素量

環境委員：佐々木興子